

1. 件名：原子力エネルギー協議会との面談
2. 日時：令和2年1月10日（金）13：10～14：10
3. 場所：原子力規制庁8階会議室
4. 出席者：
原子力規制庁
長官官房技術基盤グループ
技術基盤課 遠山課長、西崎企画官、成田課長補佐、山田係長
原子力規制部審査グループ
実用炉審査部門 川崎安全管理調査官、照井審査官
原子力エネルギー協議会（以下「ATENA」という。） 部長、他3名
5. 要旨：
 - ATENA から、次回の発電用原子炉施設におけるデジタル安全保護系の共通要因故障対策等に関する検討チーム会合では、影響評価や対策事例を示すとともに、前回会合までに原子力規制庁が提示した基準改正案に異論はなく、要求内容について共通理解に達したが、規制化を待つことなく計画的に取り組んでいくので、産業界の自律的な取組に任せてもらいたい旨の意見を表明する方針で準備を進めているとの説明があった。また、確実に対策が実施されるよう ATENA が各事業者を監督する仕組みを作る予定である旨の説明があった。これに対し、原子力規制庁から、産業界が計画的に取り組むとする期間はどの程度か指摘した。
 - ATENA から、産業界の自律的な取組が確実なものとなるよう、ATENA が各事業者による対策の実施計画や進捗状況を確認する仕組みや透明性確保の方策などについても具体的な検討を進めたい旨の説明があった。
6. 配付資料：
なし

以上